

1 次の問いに答えなさい。

〈2点×8〉

(1) 次の式を展開しなさい。

①  $(2x+3)^3$

$$\begin{aligned} &(2x+3)^3 \\ &= (2x)^3 + 3 \times (2x)^2 \times 3 + 3 \times 2x \times 3^2 + 3^3 \\ &= 8x^3 + 36x^2 + 54x + 27 \end{aligned}$$

$8x^3 + 36x^2 + 54x + 27$

②  $(x-4)(x^2+4x+16)$

$x^3 - 64$

(2) 次の式を因数分解しなさい。

①  $x^3 - 27$

$$\begin{aligned} x^3 - 27 &= x^3 - 3^3 \\ &= (x-3)(x^2+x \times 3+3^2) \\ &= (x-3)(x^2+3x+9) \end{aligned}$$

$(x-3)(x^2+3x+9)$

②  $x^3 - 3x^2y - 10xy^2$

$x(x+2y)(x-5y)$

(3) 次の計算をしなさい。

①  $(\sqrt{7}-1)^2$

$$(\sqrt{7}-1)^2 = 7 - 2\sqrt{7} + 1 = 8 - 2\sqrt{7}$$

$8 - 2\sqrt{7}$

②  $(\sqrt{2}-3\sqrt{5})(\sqrt{2}+\sqrt{5})$

$$\begin{aligned} &(\sqrt{2}-3\sqrt{5})(\sqrt{2}+\sqrt{5}) \\ &= \sqrt{2} \times \sqrt{2} + \sqrt{2} \times \sqrt{5} - 3\sqrt{5} \times \sqrt{2} - 3\sqrt{5} \times \sqrt{5} \end{aligned}$$

$-13 - 2\sqrt{10}$

(4) 次の式の分母を有理化して、簡単にしなさい。

①  $\frac{9}{\sqrt{18}}$

$$\frac{9}{\sqrt{18}} = \frac{9}{3\sqrt{2}} = \frac{3}{\sqrt{2}} = \frac{3 \times \sqrt{2}}{\sqrt{2} \times \sqrt{2}} = \frac{3\sqrt{2}}{2}$$

$\frac{3\sqrt{2}}{2}$

②  $\frac{3+\sqrt{8}}{3-\sqrt{8}}$

$$\begin{aligned} &\frac{(3+\sqrt{8})^2}{(3-\sqrt{8})(3+\sqrt{8})} \\ &= \frac{9+6\sqrt{8}+8}{3^2-(\sqrt{8})^2} = \frac{17+12\sqrt{2}}{9-8} = 17+12\sqrt{2} \end{aligned}$$

$17+12\sqrt{2}$

2 次の2次方程式を解きなさい。

〈3点×4〉

(1)  $3x^2 - 2x - 5 = 0$

$x = -1, \frac{5}{3}$

(2)  $16x^2 - 8x + 1 = 0$

$x = \frac{1}{4}$

(3)  $2x^2 - 11x + 15 = 0$

$$\begin{aligned} 2x^2 - 11x + 15 &= 0 \\ (2x-5)(x-3) &= 0 \\ x &= \frac{5}{2}, 3 \end{aligned}$$

2	×	-5	→	-5
1	×	-3	→	-6
2		15		-11

$x = \frac{5}{2}, 3$

(4)  $(x+2)(x+3) = -2x+1$

$$\begin{aligned} (x+2)(x+3) &= -2x+1 \\ x^2+5x+6 &= -2x+1 \\ x^2+7x+5 &= 0 \text{ 解の公式より,} \\ x &= \frac{-7 \pm \sqrt{7^2 - 4 \times 1 \times 5}}{2 \times 1} = \frac{-7 \pm \sqrt{29}}{2} \end{aligned}$$

$x = \frac{-7 \pm \sqrt{29}}{2}$

3 次の不等式、連立不等式を解きなさい。

〈3点×4〉

(1)  $2x+3 > 4x-5$

$x < 4$

(2)  $\frac{3x-1}{2} < \frac{2x+1}{3}$

$$\begin{aligned} \frac{3x-1}{2} < \frac{2x+1}{3} &\quad 3(3x-1) < 2(2x+1) \\ 9x-3 < 4x+2 &\quad 5x < 5 \quad x < 1 \end{aligned}$$

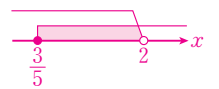
$x < 1$

(3)  $\begin{cases} 2x-6 < 5x+1 \\ -x+5 \geq 2(x+2) \end{cases}$

$-\frac{7}{3} < x \leq \frac{1}{3}$

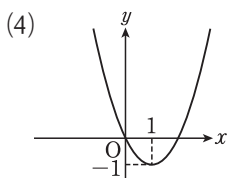
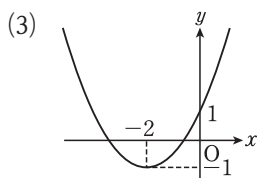
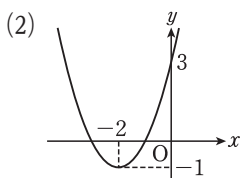
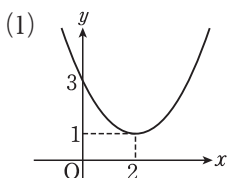
(4)  $\begin{cases} -3(x-1) \leq 2x \\ -(x+2) > 2(x-4) \end{cases}$

$$\begin{aligned} -3(x-1) \leq 2x \text{ より, } x &\geq \frac{3}{5} \quad \dots \text{①} && \text{①, ②の共通範囲は,} \\ -(x+2) > 2(x-4) \text{ より, } x &< 2 \quad \dots \text{②} && \frac{3}{5} \leq x < 2 \end{aligned}$$



4 下の放物線は、次の(ア)から(エ)のどの関数のグラフであるか答えなさい。

〈3点×4〉



(ア)  $y = x^2 - 2x$

(1) (エ)

(イ)  $y = \frac{1}{2}x^2 + 2x + 1$

(2) (ウ)

(ウ)  $y = x^2 + 4x + 3$

(3) (イ)

(エ)  $y = \frac{1}{2}x^2 - 2x + 3$

(4) (ア)

(ア)  $y = x^2 - 2x = (x-1)^2 - 1$  頂点の座標が(1, -1)だから、(4)のグラフ

(イ)  $y = \frac{1}{2}x^2 + 2x + 1 = \frac{1}{2}(x+2)^2 - 1$  頂点の座標が(-2, -1)、y軸との交点が(0, 1)だから、(3)のグラフ

(ウ)  $y = x^2 + 4x + 3 = (x+2)^2 - 1$  頂点の座標が(-2, -1)、y軸との交点が(0, 3)だから、(2)のグラフ

(エ)  $y = \frac{1}{2}x^2 - 2x + 3 = \frac{1}{2}(x-2)^2 + 1$  頂点の座標が(2, 1)だから、(1)のグラフ

5 次の関数の最大値、最小値を求めなさい。

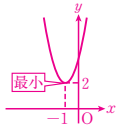
〈3点×4〉

(1)  $y=2x^2+4x+4$

$y=2x^2+4x+4$

$=2(x+1)^2+2$

よって、 $x=-1$ で最小値2をとる。最大値はない。



最大値  $x=-1$ のとき

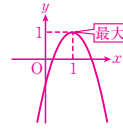
なし 最小値 2

(2)  $y=-2x^2+4x-1$

$y=-2x^2+4x-1$

$=-2(x-1)^2+1$

よって、 $x=1$ で最大値1をとる。最小値はない。



$x=1$ のとき 最小値

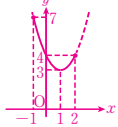
最大値 1 なし

(3)  $y=x^2-2x+4$  ( $-1 \leq x \leq 2$ )

$y=x^2-2x+4$

$=(x-1)^2+3$

よって、 $x=-1$ で最大値7、 $x=1$ で最小値3をとる。



$x=-1$ のとき  $x=1$ のとき

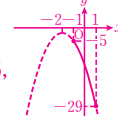
最大値 7 最小値 3

(4)  $y=-3x^2-12x-14$  ( $-1 \leq x \leq 1$ )

$y=-3x^2-12x-14$

$=-3(x+2)^2-2$

よって、 $x=-1$ で最大値-5、 $x=1$ で最小値-29をとる。



$x=-1$ のとき  $x=1$ のとき

最大値 -5 最小値 -29

6 次の2次関数のグラフとx軸との共有点があるかどうか調べなさい。また、共有点があれば、そのx座標を求めなさい。〈3点×2〉

(1)  $y=3x^2+7x+2$

$y=0$ を代入して、 $3x^2+7x+2=0$ より、

$(3x+1)(x+2)=0$   $x=-\frac{1}{3}, -2$

共有点がある

$x=-2, -\frac{1}{3}$

(2)  $y=-x^2-x-2$

$-x^2-x-2=0$ で、

$D=(-1)^2-4 \times (-1) \times (-2)=1-8=-7 < 0$ より、共有点はない。

共有点はない

7 次の各問いに答えなさい。

〈3点×4〉

(1) 大小2つの正の整数がある。その差は4で、大きい数の平方は、小さい数の平方の3倍よりも6大きい。この2つの数を求めなさい。

大きい整数を $x$ とすると小さい整数は $x-4$ と表せる。よって $x^2=3(x-4)^2+6$  展開して整理すると、 $x^2-12x+27=0$  左辺を因数分解して、 $(x-3)(x-9)=0$   $x=3, 9$ ここで、 $x=3$ とすると、 $x-4=-1$ となり、小さい整数は負の数になるので、 $x=3$ は問題に適用していない。

したがって、大きい数は9、小さい数は5

小さい数 5, 大きい数 9

(2) 1本150円のボールペンと1本80円の鉛筆をあわせて10本買い、合計金額が1200円以下で、ボールペンをできるだけ多く買いたい。

このとき、ボールペンは何本まで買えるか求めなさい。

ボールペンを $x$ 本買うとすると、

$150x+80(10-x) \leq 1200$   $150x+800-80x \leq 1200$

$70x \leq 400$   $x \leq \frac{40}{7} = 5\frac{5}{7}$

したがって、最大5本買える。

5本

(3) 2次関数 $y=x^2+mx+16$ のグラフがx軸に接するとき、定数 $m$ の値を求めなさい。

x軸に接するとは、x軸との共有点が1個あるということなので、 $D=0$ となればよい。よって、 $D=m^2-4 \times 1 \times 16=0$   $m^2-64=0$   $m^2=64$   $m=\pm 8$

-8, 8

(4)  $y=-x^2$ のグラフを頂点が(2, -3)となるように平行移動した放物線の式を求めなさい。

求める放物線の式は $y=-x^2$ を平行移動したものだから、 $y=-(x-p)^2+q$ とおける。また、頂点が(2, -3)より、 $p=2$ 、 $q=-3$ となり、

$y=-(x-2)^2-3=-(x^2-4x+4)-3=-x^2+4x-7$

$y=-x^2+4x-7$

8 全体集合を $U=\{x \mid x \text{は}25 \text{以下の自然数}\}$ として、 $A=\{4, 6, 8, 12, 16, 18, 20, 24\}$ 、 $B=\{2, 3, 5, 6, 9, 10, 12, 15, 18, 20, 24, 25\}$ とする。次の個数を求めなさい。 〈3点×2〉

(1)  $n(\bar{A})$

$n(A)=8$ だから、 $n(\bar{A})=25-8=17$

17

(2)  $n(A \cup B)$

$n(A)=8$ 、 $n(B)=12$ 、 $n(A \cap B)=5$ だから、 $n(A \cup B)=8+12-5=15$

15

9 次の場合の数を求めなさい。

〈4点×3〉

(1) 6個の果物から5個を選んで1列に並べる並べ方。

「6個から5個選んで1列に並べる並べ方」だから、順列の公式を利用して、 ${}_6P_5=6 \times 5 \times 4 \times 3 \times 2=720$ (通り)

720通り

(2) 8人の中から4人のリレーの選手を決めるときの選び方。

「8人から4人を選ぶ選び方」だから、組合せの公式を利用して、

${}_8C_4=\frac{8 \times 7 \times 6 \times 5}{4 \times 3 \times 2 \times 1}=70$ (通り)

70通り

(3) 1個のさいころを2回投げるとき、目の数の和が4の倍数になる目の出方。

目の数の和が4の倍数だから、④4になる場合 ⑤8になる場合 ⑥12になる場合に分けて考える。

④4になる場合、(1回目, 2回目)=(1, 3), (2, 2), (3, 1)の3通り。

⑤8になる場合、(1回目, 2回目)=(2, 6), (3, 5), (4, 4), (5, 3), (6, 2)の5通り。

⑥12になる場合、(1回目, 2回目)=(6, 6)の1通り。

④, ⑤, ⑥は同時に起こらないから、和の法則を利用して、 $3+5+1=9$ (通り)

9通り